公益財団法人福武教育文化振興財団・国吉康雄記念研究講座共同プロジェクト
財団設立40周年記念事業×国吉祭2026

第24回おかやま県民文化祭「文化がまちにある！プログラムin備前」
岡山大学国吉康雄記念研究寄付講座「体験学習機会の拡張プロジェクト」

国吉祭 くによしさい 2026 CARAVAN in 岡山 おかやま

岡山大学企画 すべて無料（参加費、材料費無料）









2026年11月15日㊐
12:00〜16:00ごろ　雨天決行

会場／**岡山大学鹿田キャンパス Junko Fukutake Hall**
〒700-0914 岡山市北区鹿田町2丁目5−1

明治に岡山で生まれ、世界的な洋画家となった国吉康雄。その作品コレクションは、岡山県にあるものが、質・量ともに世界最大規模とされています。
国吉作品と研究資料を岡山の「文化芸術資源」として活用し、幅広い世代と地域の人々に、国吉芸術の魅力を伝える体験型アートイベントが「国吉祭」です。「国吉祭」は、アートの聖地として知られる直島で開催された展覧会「国吉康雄 ベネッセアートサイト直島の原点」と同じ2013年に始まり、2015年の岡山大学「国吉康雄記念・美術教育研究と地域創生講座」設置の原動力となりました。

主　　催：（一社）クニヨシパートナーズ
　　岡山県 ／（公社）岡山県文化連盟 ／ おかやま県民文化祭実行委員会
　　おかやま県民文化祭・文化がまちにある！プログラムin備前実行委員会
企　　画：岡山大学学術研究院教育学域《国吉康雄記念・美術教育研究と地域創生講座》
制作協力：岡山大学5DLab.
助　　成：（公財）福武教育文化振興財団
後　　援：岡山県教育委員会

公益財団法人 福武教育文化振興財団
岡山大学 OKAYAMA UNIVERSITY

あなたに夢を。宝くじ 街に元気を。 クーちゃん

公益財団法人福武教育文化振興財団・国吉康雄記念研究講座共同プロジェクト
財団設立40周年記念事業×国吉祭2026

公益財団法人福武教育文化振興財団
設立40周年記念イベント

40年の物語

『いいね』という『声』が『文化』を育んできた

2026年11月15日㊐ 13:00〜16:00（12:00開場）
岡山大学鹿田キャンパス　Junko Fukutake Hall

参加無料
定員200名／事前予約不要（先着順）
※同日12:00より、「国吉祭CARAVAN in 岡山」も同会場で同時開催

第一部（13:00〜）

40周年記念プレゼンテーション　福武教育文化振興財団の40年の歩みを振り返り、この後に開催する鼎談のテーマにも触れます。

鼎談　「『いいね』という『声』が『文化』を育んできた」


伊原木 隆太
岡山県知事


那須 保友
岡山大学長


松浦 俊明
福武教育文化振興財団理事長

伊原木隆太・岡山県知事、那須保友・岡山大学長、そして、松浦俊明・福武教育文化振興財団理事長が、岡山での教育と文化、その未来をテーマに、地域の環境・経済・社会の調和を文化と教育の力でどのように実現していくのか、それぞれの視点で語り合います。


《進行》伊藤 駿
岡山大学国吉康雄記念研究講座

第二部（14:45〜）

パフォーマンスとプレゼンテーション
- 応神太鼓保存会・童
- OiBokkeShi & 老いのプレーパーク岡山
- クリエイティブゲーム振興会 & 国吉康雄記念研究講座
- IPU・環太平洋大学ダンス部

福武教育文化振興財団は、「岡山県の教育・文化の進展に役立ちたい」との思いから1986年に設立され、助成と表彰を通じて岡山の人づくり・地域づくりを支えてきました。
岡山の地域文化資源を教育活動に運用する「岡山大学国吉康雄記念・美術教育研究と地域創生講座」とその受講生は、今年、設立40年を迎える財団の活動を振り返り、これからの岡山の教育と文化を考えるシリーズ「40年の物語 ～『いいね』という『声』が『文化』を育んできた」を2027年3月まで企画・運営します。
その第一弾となる今回は、伊原木隆太岡山県知事、那須保友岡山大学長、松浦俊明同財団理事長による鼎談を行います。あわせて、財団の助成を受けた団体のパフォーマンスと、受講生によるアートワークショップ「国吉祭2026」を実施します。
会場の岡山大学Junko Fukutake Hallは、「大学と地域を繋ぐ架け橋」を理念に掲げる建築です。岡山の教育と文化の「これまで」と「これから」を、皆さまと共に考えるきっかけとなれば幸いです。

企画・運営責任　伊藤 駿（岡山大学国吉康雄記念研究講座特任助教）

主　　催：公益財団法人福武教育文化振興財団
企画・運営：岡山大学学術研究院教育学域　国吉康雄記念・美術教育研究と地域創生講座＋同講座受講生事業創生チーム

公益財団法人 福武教育文化振興財団
岡山大学 OKAYAMA UNIVERSITY

福武教育文化振興財団助成団体活動報告「つながり・ひろがる・つづく協働」
（パフォーマンスとプレゼンテーション）

福武教育文化振興財団の助成活動の中から、多彩な活動を紹介します。

応神太鼓保存会・童

応神天皇にまつわる笠岡の歴史に由来し、昭和61年に発足した「応神太鼓保存会」から平成2年に誕生した、小中学生主体の和太鼓グループが「童」です。活動は、干拓の地・笠岡の風景をオリジナル曲で表現し、地域行事や文化庁の伝統文化親子教室事業などにも取り組むなど、伝統を未来へ引き継ぐ「次世代地域リーダーの育成」の場でもあります。福武教育文化振興財団からは太鼓破損の修復などの活動基盤の整備や、今年度の創立40周年記念事業への助成を受けました。長胴太鼓と締太鼓の響き、打ち手の気迫、聞き手の心が一体となる「勇壮な太鼓」をお楽しみください。



クリエイティブゲーム振興会と岡山大学「国吉康雄記念・美術教育研究と地域創生講座」

クリエイティブゲーム振興会は、国吉講座の受講生有志が設立した学生グループです。コロナ禍でオンラインのプログラムが推奨されるなか、「『対話力』の育成を目的とした新しいコンテンツの開発とその検証」で福武教育文化振興財団の助成を受け、講座と共同でオリジナルのテーブルトーク・ロールプレイング・ゲーム『言の葉の探究者たち』を開発。ゲームを活用した、対話と探究力を育む教育コンテンツの実践は、岡山市「学生イノベーションチャレンジ推進事業」、2022年度から三菱みらい育成財団の助成採択を受け、岡山大学の教養教育科目として開講しており、今年度からは岡山理科大学附属高等学校でも実施されます。



OiBokkeShi & 老いのプレーパーク岡山

岡山県に移住した劇作家・演出家・介護福祉士の菅原直樹氏（第1回福武教育文化賞受賞）は、ワークショップに参加した岡田忠雄さん（1926-2026）との出会いから、2014年に、「老いと演劇」OiBokkeShiを設立。演劇と介護を融合させ、「老い」に対する社会の認識を問い直す、その初期の活動を支えたのが福武教育文化振興財団の助成金でした。今、その実践は、拠点の奈義町から公共劇場との協働などを通じて県外に広がり、菅原氏の作品に参加したメンバーによる自主演劇集団「老いのプレーパーク岡山」も誕生。同団体も2025・2026年度に財団の助成を受け、世代を超えた人々が演劇を通じて「老い」と向き合う活動を育みます。



岡田忠雄さんのドキュメンタリー映画「OiBokkeShi　99歳の看板俳優」が、11月20日からシネマ・クレール丸の内（086-231-0019）で公開されます。

IPU・環太平洋大学ダンス部

2015年4月創部。監督の小澤尚子氏（第7回福武教育文化賞受賞）のもと、創作ダンスとチアダンスの両輪で活動し、世界選手権大会チアダンス部門では日本代表として2019・2023・2025年に金メダルを獲得。創作ダンスの全国大会では2026年に「NHK賞」を受賞し、5年連続7度目の入賞を果たしました。地元岡山の歴史や文化を題材とした作品創作にも力を注いでいます。
今回は2作品を披露。「燃ゆる鏡獅子－平櫛田中、木彫に捧ぐ血潮－」（全日本高校・大学ダンスフェスティバル特別賞）は、岡山県出身の彫刻家・平櫛田中の人生と、22年の歳月をかけた《鏡獅子》の制作を描く。「漂流郵便〜『さよなら』が言えなくて」（同NHK賞）は、2013年の瀬戸内国際芸術祭で粟島（香川県三豊市）に生まれたアート作品《漂流郵便局》に着想を得て、宛先のない手紙に込められた想いを作品に投影し、人の心の旅路を描く。



関連展覧会

40周年記念事業「40年の物語 〜『いいね』という『声』が『文化』を育んできた」では、岡山大学の津島と鹿田の両キャンパス、そして岡山県立美術館をつなぐ展示プロジェクト「Knowledge Commons Okayama 2027〜不易流行」を展開します。国吉康雄をはじめ、講座が継続的にアプローチしてきた画家たちの作品を通じて、受け継ぐべきものと新たに拓くものを見つめ直します。

■岡山大学病院での展示

円城寺は奈良時代の715年、行基により開創された古刹です。本堂の天井画は江戸後期に描かれた、花・鳥・動物を極彩色で表した作品で、2008年発足の円城寺天井画修復会が2010年度福武教育文化振興財団の助成を受けて修復を進めました。本展では、その天井画の一部を複製で展示します。

■岡山大学附属中央図書館での展示

岡山大学附属中央図書館2階では、国吉講座が継続的にアプローチしてきた国吉康雄、田中憲一（熊本地震被災作品レスキュー活動）、清志初男と山本一雄（国立療養所長島愛生園「長島美術会」調査活動）、海太郎（「附属病院ホスピタルアート活動」）の5名の画家を紹介する展示を公開しています。国吉講座受講生が、それぞれの画家の作品を「一つの見方に当てはめて分かった気にならない」ための展示手法を、半年にわたる企画開発講義のなかで考えてきました。



岡山大学図書館での展示

■岡山県立美術館での展示
■5DLab.での展示

2027年1月末から2月にかけて、岡山県立美術館と岡山大学津島キャンパス5D Lab.に展示を拡大。関連イベントも実施します。詳細は国吉講座HPやSNSなどで、随時更新します。

第一部

12:00　Jホール開場・「国吉祭2026 CARAVAN in 岡山」開始
13:00　「40年の物語 〜『いいね』という『声』が『文化』を育んできた」開会
　　40周年記念プレゼンテーション・鼎談登壇者の紹介
13:30〜14:20　鼎談「『いいね』という『声』が『文化』を育んできた」
　　（休憩）

第二部

14:45〜16:00　福武教育文化振興財団助成団体活動報告「つながる・ひろがる・つづく協働」
　　パフォーマンス①：応神太鼓保存会・童
　　パフォーマンス②：IPU・環太平洋大学ダンス部
　　プレゼンテーション①：OiBokkeShi ＆老いのプレーパーク岡山
　　プレゼンテーション②：岡山大学国吉康雄記念・美術教育研究と地域創生講座 ＆ クリエイティブゲーム振興会
　　会場ディスカッション
　　パフォーマンス③：IPU・環太平洋大学ダンス部
16:00　閉会・国吉祭終了



OiBokkeShi ＆老いのプレーパーク岡山



IPU・環太平洋大学ダンス部

公益財団法人福武教育文化振興財団について

（公財）福武教育文化振興財団は、福武書店の創業者・福武哲彦氏の「岡山県の教育・文化の進展に役立ちたい」という志を福武總一郎氏が引き継ぎ、1986年に設立した財団です。岡山県を舞台に、教育と文化芸術の両面から人づくり・地域づくりを支えています。
主な事業は、地域で主体的に活動する個人・団体への助成事業と、先駆的な実践の顕彰事業です。これらを通じて、地域社会の活性化、次世代の育成、教育の質の向上、文化芸術の振興など、多様な活動を後押ししてきました。このほか、継続的に活動を支える「フォロー助成」や、美術館と学校をつなぐ「ハロー！ミュージアム助成」にも取り組んでいます。
こうした事業を通じて、人と人、世代と世代、地域と文化をつなぎ、豊かなコミュニティを育むことを目指しています。2026年に設立40周年を迎え、地域に芽生え育まれてきた活動を振り返りながら、岡山の教育と文化の未来を見据えています。

会場：岡山大学 Junko Fukutake Hall（Jホール）について

福武純子氏（1948-2017 / 福武教育文化振興財団第3代理事長）の寄付により、2013年に岡山大学鹿田キャンパスに建設されました。設計は世界的建築家ユニットSANAA。7枚の屋根とガラス張りの開放的な空間が特徴で、2015年に第56回BCS賞（日本建設業連合会主催）を受賞。「合理的で寛容でボーダレスな出会い」「自由で愉快なコミュニケーションを誘発する場」「セレンディピティを生み出す場」という理念を体現しています。大学と地域をつなぎ、学術・文化を通じた交流と新たな出会いを育む拠点として機能しています。



Jホールに掲げられた理念のプレート

工作ワークショップやお面ワークショップ

国吉康雄が描いた作品をモチーフの「仮面」を作るワークショップや、国吉作品の額装をオリジナルで作る「額装ワークショップ」など、たくさんの工作体験にいつでも参加することができます。岡山大学の先生と学生、美術専攻の卒業生と一緒に楽しめます!! 質問、おしゃべり大歓迎です。



国吉祭での
ワークショップの様子



本イベントは、岡山大学国吉康雄記念・美術教育研究と地域創生講座が開講する「クリエイティブディレクター養成」と「ビデオグラファー養成」受講生及び、過去に講座を受講したことのある学部生・院生・卒業生有志によって企画・運営されています。

国吉康雄探究ゲーム



岡山大学教育学研究科の大学院生と工学部の学生が共同で小学生向けに開発した、20世紀に活躍した洋画家、国吉康雄を題材にアートと歴史を学べるゲームを体験することができます。

国吉康雄作品の実寸大模写作品

日本を代表する洋画家、諏訪敦さんが監修し、広島市立大学芸術学部の画学生が制作した模写や、筑波大学院の博士課程の大学院生が、国吉康雄の使用した「カゼイン絵の具」や画法の研究を行うに制作した実寸大の模写作品を展示します。



岡山大学病院での展示

国吉康雄について

20世紀を代表する洋画家のひとりで、現在アメリカでは、美術家、社会活動家、教育者としての再評価が始まっています。国吉は1889年岡山市北区出石町で生まれ、1906年に日露戦争終結後、混乱する日本を離れ、労働移民として単身渡米。絵の才能を認められ画家として活躍する一方、教育者や社会活動家としても高く評価されました。太平洋戦時中は、敵国人身分となりますがアメリカに残り、ナチスや軍国主義を批判し、晩年はアートのオリンピックと呼ばれる、ベネチアビエンナーレのアメリカ代表にまでなります。1953年、ニューヨークで亡くなりました。



国吉康雄《ミスターエース》
1952年 福武コレクション蔵

岡山大学「国吉康雄記念・美術教育研究と地域創生講座」について

「国吉康雄記念・美術教育研究と地域創生講座」は、（公財）福武教育文化振興財団と（公財）福武財団の寄付により、2015年に人文社会系初の寄付講座として設置されました。一般社団法人クニヨシパートナーズと連携し、国吉康雄の研究と顕彰、国吉作品を用いた鑑賞モデルの開発と教育的運用に取り組んでいます。「あるものを活かし、新しい価値を生み出す」をモットーに、岡山で学ぶ学生と地域の橋渡し役を担っています。2019年には、「国吉康雄研究・顕彰活動」のブランディングにより第20回岡山芸術文化賞準グランプリを、岡山の地域資源の発信と芸術文化の振興・教育普及への貢献により第46回岡山市文化奨励賞を受賞しました。2024年からは、国内外の大学生に向けて、映像講義シリーズ「芸術と近現代社会の関わり 〜 岡山・瀬戸内（備讃）の事例での対話と探求」を制作し、公開しています。

岡山大学鹿田キャンパス
Junko Fukutake Hall

アクセス：JR岡山駅よりバス・タクシーで約12分
http://j-hall.med.okayama-u.ac.jp/index.html



問い合わせ
国吉康雄記念研究講座
TEL：086-251-8518（5D Lab.）
メール：s.ito@okayama-u.ac.jp（伊藤宛）